

除雪、買い物、通院介助…

介護保険外の家事を支援

除雪、庭の手入れ、外出介助など、介護保険で賄いきれない高齢者らの家事を支援する事業が県内で広がっている。薬局や美容師らが、顧客の身近な困り事を解決し、よりと事業に乗り出している。

「高い所の電球交換や重い買い物。どれだけ夫の世話になっていたかが分かった」。4年前に夫をなくし、一人で暮らす女性(68)＝秋田市＝は振り返る。女性は手の関節が腫れて痛み、力仕事ができない。困っていた約2年前、かかりつけの調剤薬局が家事支援サービスを行っている」と知り、直ちに利用を決めた。

県内薬局、美容師ら事業展開

月2回ほど、雪寄せや買い物、畑の手入れなどを頼む。女性は「もっと早く知りたかった。年を取れば利用頻度はもっと増えると思う」と話す。

女性が利用しているのは、県内で薬局11店舗を展開する「ビー・アンド・エス」(秋田市)の会員制生活支援サービス「ささえ愛クラブ」。同社のグループ企業「BFホー

ルディングス」が運営する。電話と訪問により定期的な安否確認を行う「一般会員」(月会費2千円)と、予約制で力仕事などを請け負う「生活支援専門会員」(年会費2千円、利用料は30分当たり千円)に延べ40人が登録。担当の戸田貴之さん(48)は「ストープの出し入れ、小屋の整理など季節特有の家事の依頼が多い」と話す。

ささえ愛クラブの設立は2011年4月。薬剤師と管理栄養士の在宅訪問に力を入れるビー・アンド・エスが、在宅支援の一環で始めた。大友

進社長は「日常の困り事も含めて何でも相談できる薬局を目指している。家事支援は生活の質の維持につながり、健康とも深く関係する」と説明する。

こなせない人もいる。このため同社は、ケアマネジャーや地域包括支援センターからも顧客の紹介を受けるといふ。



「ささえ愛クラブ」の会員宅で、女関灯を修理する戸田さん